

平成30年度

事務事業評価表 A (平成29年度の実績評価)

記入年月日  
平成 30 年 4 月 18 日

Table with columns for 事務事業名, 事業区分, 担当, 政策体系, 予算科目, 法令根拠. Includes details for ICT活用した英会話交流事業.

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像), ②担当が行う業務の内容・やり方・手順. Includes details about the exchange program and implementation steps.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with 5 columns: ①手段, ④活動指標, ②対象, ⑤対象指標, ③意図, ⑥成果指標. Shows performance metrics for 28-32 fiscal years.

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table showing input costs (事業費) for 28, 29, and 30 fiscal years, categorized by source (国庫, 県支, 地方債, etc.) and personnel costs.

Table showing internal costs (事業費の内訳) for 29 and 31 fiscal years, listing items like 報酬, 旅費, 需用費, etc.

(4) 当該年度の実施内容

Table with 4 columns: 30年度の実施内容, 31年度の実施内容, 32年度の実施内容. Includes implementation details and a list of main activities.

事務事業名	ICT技術を活用した英会話交流事業	事務事業No.	20101001002	所属課	学校教育課
-------	-------------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 全国でICTを用いた英会話交流事業が普及し始め、桜川市でも平成27,28年頃から市内の児童・生徒を対象に英語力の向上を目指して、ICTを用いた交流事業を推進すべきという話が出てきた。
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? 平成29年度は、岩瀬小学校が交流校となった。次年度以降は、ICT設備を各小中学校に配置し、英会話交流を普及させるよう意見がある。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	ICTを用いて海外の児童・生徒と触れ合うことで、英語を身近に感じ、英語への学習意欲を高めることができている。また、異文化への理解も深めている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	小学校から英語の授業が始まっており、児童・生徒に英語に触れ合う機会を与え、英語力の向上を目的としているため、妥当である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	平成29年度は比較的短い時間を使って、英会話交流を実施していた。今後は、英語に触れ合う時間を長くする等、様々な観点から事業を考察し、成果の向上を図る必要がある。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有	児童・生徒の英語に触れ合う機会が少なくなってしまう。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか?(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input checked="" type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない	類似事業はない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	相手学校の選定や備品について桜川市の負担が増えないように必要最小限の費用でやっている。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	教育の一貫として事業を展開しており、今後対象となる学校を増やしていくため、公平・公正である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 平成29年度は、岩瀬小学校の児童を対象に計47回の英会話交流を行った。時間は、比較的短かったが、児童に交流後に感想を聞いてみると「楽しかった」「英語をもっと勉強したい」といったものがあり、英語を身近に感じる事ができていた。今後は、相手学校の選定や交流時間、通信環境等について検討し、英会話交流を進めていきたい。																					
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下			×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持			×																		
	低下			×																		
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 相手学校の選定や交流時間、通信環境等について検討し、児童・生徒によりよい英会話交流を提供できるように検討したい。	(6) 事務事業優先度評価結果 <table border="1"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td> <td>-</td> </tr> </table>	成果優先度評価結果	-	コスト削減優先度評価結果	-																	
成果優先度評価結果	-																					
コスト削減優先度評価結果	-																					

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 <input checked="" type="checkbox"/> 確認
--	---